



CONCEPT BOOK

我が国が目指す未来社会像

サイバー空間とフィジカル空間を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する人間中心の社会。それを我が国が目指す未来社会「Society 5.0」*と提唱しました。

国内外の情勢変化を踏まえ、未来社会をより具体的に「直面する脅威や先の見えない不確実な状況に対し、持続可能性と強靭性を備え、国民の安全と安心を確保するとともに、一人ひとりが多様な幸せ（Well-being）を実現できる社会」と表現し、このような未来社会の実現を目指しています。

*第5期科学技術基本計画





戦略的イノベーション創造プログラム



研究開発と Society5.0 との橋渡しプログラム

科学技術・イノベーションへの取組

内閣府では、総合科学技術・イノベーション会議（CSTI）が司令塔となり、未来社会の実現のためのイノベーション創出を目指す国家的なプログラムを進めています。

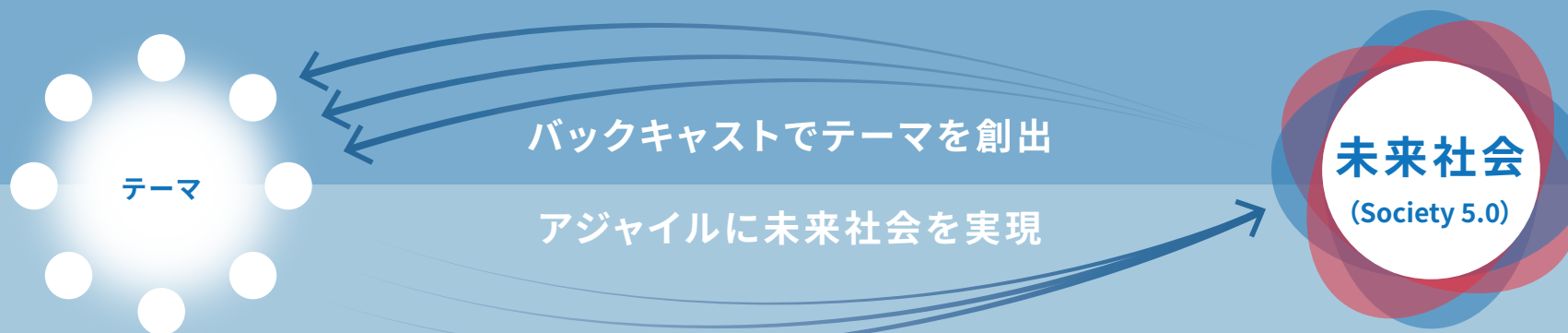
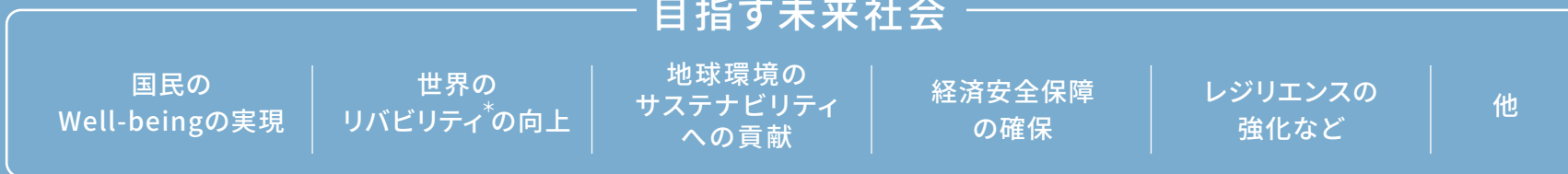
戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）、研究開発と Society 5.0 との橋渡しプログラム（BRIDGE）、ムーンショット型研究開発制度は、それぞれに共鳴しながら研究開発の社会実装に取り組んでいます。

戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）

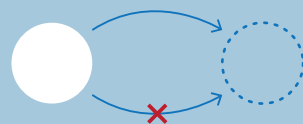
SIPとは、総合科学技術・イノベーション会議（CSTI）が司令塔機能を発揮して、府省の枠や旧来の分野を超えたマネジメントにより、科学技術イノベーション実現のために創設した国家プロジェクト。2023年度から開始した第3期では、Society 5.0の実現に向けてバックキャストで14の課題を設定。技術だけでなく事業・人材等の5つの視点から検討を行うことで、社会実装に向けた戦略的な取組を進めています。

未来社会の実現に向けアジャイルに推進

目指す未来社会



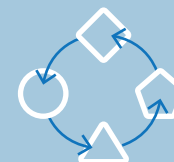
アジャイルな
開発モデル



トライ&エラー



テーマ同士がスクラムに



スプリントによる変容

* リバビリティ：暮らしやすさ、住みやすさ



豊かな食が提供される 持続可能なフードチェーンの構築

松本 英三
(株)J-オイルミルズ 取締役常務執行役員



スマート防災ネットワークの構築

楠 浩一
東京大学 地震研究所 災害科学系研究部門 教授



統合型ヘルスケアシステムの構築

永井 良三
自治医科大学 学長



スマートインフラマネジメントシステムの構築

久田 真
東北大学大学院工学研究科 教授 兼 インフラ・マネジメント研究センター センター長



包摂的コミュニティプラットフォームの構築

久野 譜也
筑波大学大学院 人間総合科学学術院 教授 兼 筑波大学 スマートウェルネスシティ政策開発研究センター長



スマートモビリティプラットフォームの構築

石田 東生
筑波大学 名誉教授



ポストコロナ時代の学び方・働き方を実現する プラットフォームの構築

西村 訓弘
三重大学大学院 地域イノベーション学研究科 教授・特命副学長



人協調型ロボティクスの拡大に向けた 基盤技術・ルールの整備

山海 嘉之
筑波大学 システム情報系教授 兼 サイバニクス研究センター 研究統括 兼 未来社会工学開発センター センター長 / CYBERDYNE (株) 代表取締役社長・CEO



海洋安全保障プラットフォームの構築

石井 正一
日本 CCS 調査(株) 顧問



バーチャルエコノミー拡大に向けた 基盤技術・ルールの整備

持丸 正明
(国研) 産業技術総合研究所 人間拡張研究センター 研究センター長



スマートエネルギーマネジメントシステムの構築

浅野 浩志
岐阜大学高等研究院 特任教授 / (一財)電力中央研究所 研究アドバイザー / 東京工業大学 科学技術創成研究院 特任教授



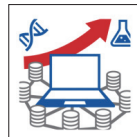
先端的量子技術基盤の社会課題への応用促進

寒川 哲臣
日本電信電話(株) 先端技術総合研究所 常務理事 基礎・先端研究プリンシパル



サーキュラーエコノミーシステムの構築

伊藤 耕三
東京大学大学院 新領域創成科学研究科 教授



マテリアル事業化イノベーション・ 育成エコシステムの構築

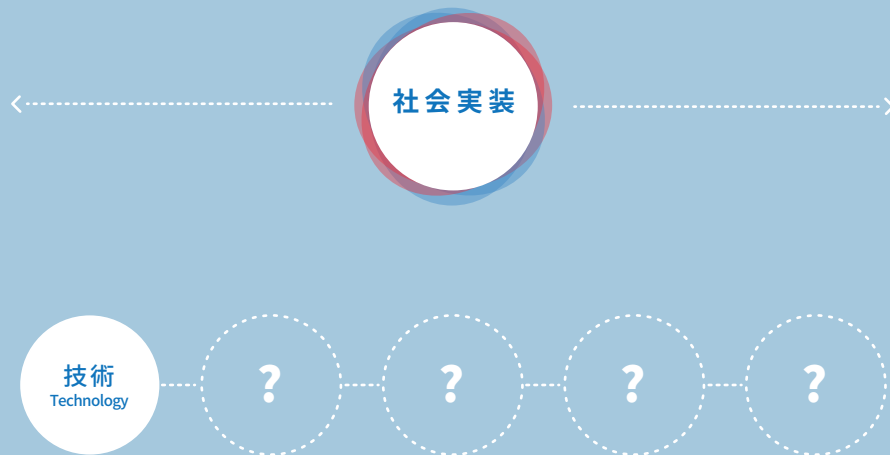
木場 祥介
ユニバーサルマテリアルズインキュベーター(株) 代表取締役パートナー

社会変革を志向する イノベーションの推進

国内外の経済・社会情勢の変化に対応し、技術開発にとどまらず、多角的な視点から社会変革の推進を目指しています。社会変革を志向するイノベーションの推進には、従来の科学技術・イノベーション政策の枠組みを越えた総合的・複合的なアプローチが必要です。そこで、社会実装に向けた5つの視点から関係省庁や産業界と連携した取組を推進しています。

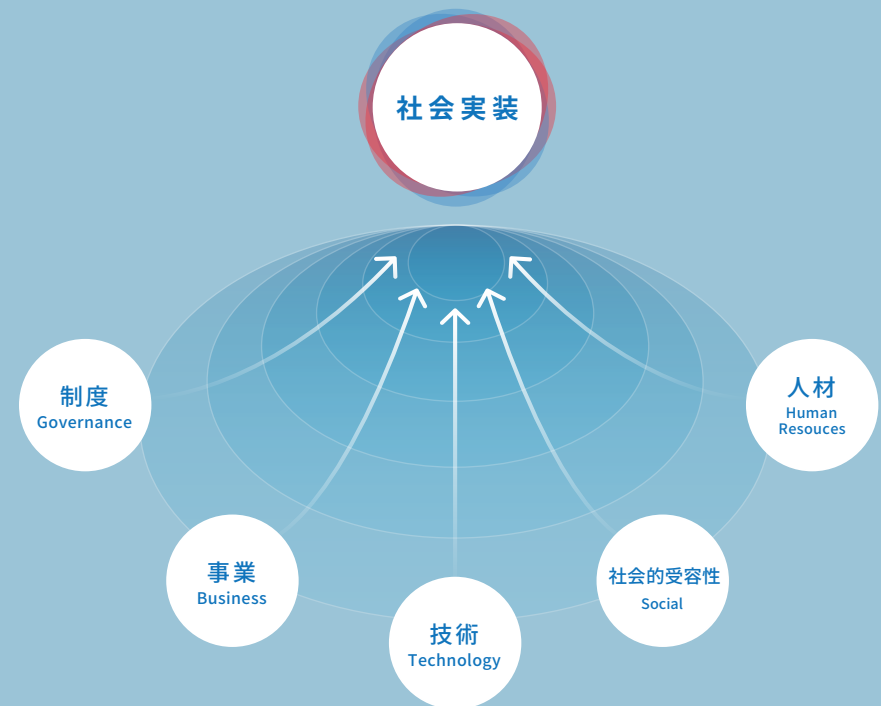
従来のプロジェクト

技術はできても、社会実装に繋がらないことも...



SIP 第3期

プログラムディレクター (PD) のもとで、府省連携・産学連携により、5つの視点から必要な取組を推進!





研究開発とSociety 5.0との
橋渡しプログラム

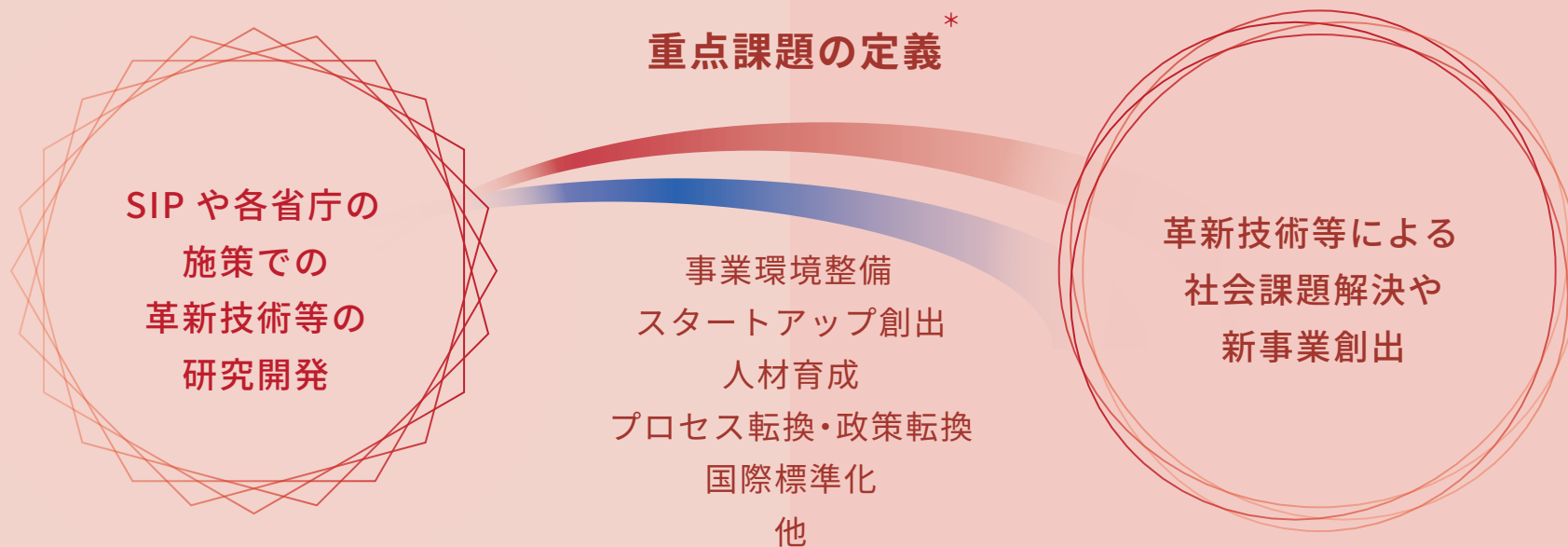
programs for Bridging the gap between R&d and
the Ideal society (society 5.0) and Generating
Economic and social value

研究開発と Society 5.0 との橋渡しプログラム (BRIDGE)

BRIDGE とは、科学技術・イノベーション政策の方針に基づき、総合科学技術・イノベーション会議 (CSTI) の司令塔機能を生かし各省庁の研究開発等の施策のイノベーション化を推進するプログラム。

「重点課題」(例:事業環境整備、スタートアップ創出、人材育成など)を設定し、研究開発だけでなく社会課題解決等に向けた取組を推進。SIP との一体的な運用を推進し、研究開発と Society 5.0 を橋渡ししていきます。

イノベーションの推進





WEBサイトはコチラ

<https://www.sip.go.jp/>

発行元：内閣府 科学技術・イノベーション推進事務局

発行日：2024年2月

Copyright©2024 Cabinet Office, Government of Japan. All rights reserved.

